

2019年度 事業報告

1. 全般的概況

公益社団法人としてスタートを切って、丸8年が経ちました。

2019年度のスタート当初は、一輸出や生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復している一と見られていたものの、2020年の2月以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により一気に厳しい状況に置かれ、緊急事態宣言が発令された4月の内閣府の月例経済報告の基調判断では、一景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。と報告されています。

宣言が解除されて以降、休業を余儀なくされていた全国のボウリング場が次々と営業を再開したものの、まだまだ厳しい状況が続いています。

2019年度は、前年度の2018年度に結成された日本ボウリング機構（JBO）が動き始め、また全国の加盟センターで予選が開催された「KUWATA CUP」効果などで、業界に明るい材料が見え始めたのですが、2月～3月新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、ボウリング業界内でも多くの大会やイベントの開催が中止となっただけではなく、期の途中でも台風や豪雨の影響で休業をやむなくされたセンターもあり、業界のみならず経済に大きな影響を与えました。

これを受け、2020年度は日本ボウリング場協会として何ができるか、また日本ボウリング機構（JBO）は業界へ向けて何を発信していけばいいのか、その手腕が問われる重要な時期なのだと思います。

会員企業のボウリング場が一つも欠けることなく、この状況を乗り切るために、日場協だけではなく、業界全体が力をつけなければなりません。

それには会員皆様のご協力が必要不可欠です。

業界が一つになり、新しい時代を築いていきましょう。

このような状況のなか、弊協会は昨年度定時総会時に報告の30年度事業計画に示した、次に記載の公益目的事業を中心に積極的に取り組み、相応の成果を挙げることができましたので報告します。

役員一同でさらに努力をしてまいりますので、引き続き会員皆様のご支援ご協力を切によろしくお願い申し上げます。

2. 公益目的事業

I ボウリングを通して、スポーツへの参加意識を高める事業（公益目的事業1）

1. 日本商工会議所会頭杯争奪「第53回BPAJ全国ボウリング競技大会」の主催

●主 管 東海ボウリング場協会

●期 間 令和元年6月1日（土）～2日（日）

●会 場 名古屋グランドボウル

・都道府県対抗4人チーム戦、ダブルス戦、スペシャルオリンピックスの部

●参加数 都道府県 4チーム戦 83チーム（332名）

ダブルス戦 70チーム（140名）

合 計 153チーム（472名）

2. 「いい夫婦の日・記念トーナメント部門」

●経済産業省及び公益財団法人日本生産性本部の後援で実施された、「11.22いい夫婦の日・第22回キャンペーン」に参画し、全国の加盟センターで「いい夫婦の日・記念トーナメント部門」を実施した。

・参加センター 185 ・2,525チーム（5,050人）

3. 「オリンピック・パラリンピック」へのボウリング種目採用の働きかけ

●今後の見通しについて情報を収集し、「オリンピック・パラリンピック」へのボウリング種目採用の働きかけ方法を検討しました。

II 日本ボウリング史料館の設置・運営事業（公益目的事業2）

書籍に関しては、事務局が入居している 東京都品川区南品川2-2-10 南品川Nビル3階の一角にコーナーを設け、引き続き運営を行っている。

その他のグッズ等展示品については、27年にスペースをご提供いただき移転したアオキグランドボウル（埼玉県川口市中青木3-8-17）内に引き続き展示、現在に至っている。

一般の閲覧者及びマスメディア関係者の取材に対応し、それが数々のボウリングの露出に繋がっている。

また、ボウリング史料館に足を運ぶことが出来ない人のために、協会のホームページでそれらをコーナー別に観ることが出来る「ボウリングミュージアム（Web史料館）」を開設・運営している。

Ⅲ 児童の健全育成事業（公益目的事業3）

友達とのコミュニケーションを深め、家族との絆を強めるスポーツであるボウリングを通して、児童にスポーツの楽しさを実感できるようにするとともに、安全な時間と場所を提供することを目的とする活動を行った。

1. 「ジュニアボウリング教室」の主催

(1) BPAJ・JPBA共催「2019年 夏休み全国ジュニアボウリング教室」

- 主 催 公益社団法人日本ボウリング場協会、公益社団法人日本プロボウリング協会
- 後 援 スポーツ庁
- 期 間 夏休み期間中：2019年7月20日（土）～9月1日（日）
- 参加対象 小学2年生以上 中学3年生迄
- 内 容 ①ボウリングのルールとマナー ②ボウリングの基礎技術
③スコアチャレンジの実施
- 指導担当 JPBAプロボウラー、公認インストラクター、認定インストラクター
- ツール関係 申込みがあったセンターに対し、数を調整のうえ下記のツールを日場協より送付
 - ・ポスター ・テキスト ・修了書 ・JPBA Jrワッペン
 - ・チラシ（HPにアップ） ・参加賞（江崎グリコ商品）
- 全国の83センターで開催された。

(2) BPAJ・JPBA共催「2019年 冬休み全国ジュニアボウリング教室」

- 主 催 公益社団法人日本ボウリング場協会、公益社団法人日本プロボウリング協会
- 主 管 公益社団法人日本プロボウリング協会 開催各地区
- 期 間 冬休み期間中：2019年12月25日（水）～2020年1月7日（火）
- 参加対象 小学2年生以上 中学3年生迄
- 内 容 ①ボウリングのルールとマナー ②ボウリングの基礎技術
③記録会等の開催
- 指導担当 JPBAプロボウラー、公認インストラクター、認定インストラクター
- ツール関係 申込みがあったセンターに対し、数を調整のうえ下記のツールをJPBAより送付
 - ・ポスター ・テキスト ・修了書 ・JPBA Jrワッペン
 - ・チラシ（HPにアップ）
- 全国の24センターで開催された。

(3) BPAJ・JPBA共催「2020年 春休み全国ジュニアボウリング教室」

- 主 催 公益社団法人日本ボウリング場協会、公益社団法人日本プロボウリング協会
- 期 間 春休み期間中：2020年3月20日（金）～4月5日（日）
- 参加対象 小学2年生以上 中学3年生迄

- 内 容 ①ボウリングのルールとマナー ②ボウリングの基礎技術
③記録会等の開催
- 指導担当 J P B Aプロボウラー、公認インストラクター、認定インストラクター
- ツール関係 申込みがあったセンターに対し、数を調整のうえ下記のツールを日場協より送付
 - ・ポスター ・テキスト ・修了書 ・J P B A J rワッペン
 - ・チラシ（HPにアップ）
- 全国の18センターから開催の申し込みがあったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施報告は2センターのみ。

(4)「2020 JBOジュニアボウリングアカデミー」の展開

全国のボウリング場で「ジュニアボウリング教室」を実施する際、参加するジュニアに対し、的確で且つ安全なコーチングができる指導者を育てるため、公益社団法人日本プロボウリング協会と公益財団法人全日本ボウリング協会の協力により、2017年度より開催をスタートした。

2018年度に開催された「JBOジュニアボウリングアカデミー2019」より、日本ボウリング機構(JBO)の主催となり、2019年度開催の「JBOジュニアボウリングアカデミー2020」では、「ジュニアクラブへの移行率を向上させる具体策」をセミナーのテーマに、全10地区に於いて開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止となった。

その教材として使う予定であった、ジュニアボウリングの収録DVDを本年2月に制作した。

これは、笹塚ボウル（東京）と桜ヶ丘ボウリングセンター（神奈川）でのジュニアボウリング教室、ならびに神奈川県立釜利谷高等学校、神奈川県立横須賀工業高等学校のボウリング部の部活動を収録したDVDであるが、また改めて全国のジュニア指導者への発表の機会を作りたい。

2. ジュニア開放レーンの推進

比較的お客様の少ない夕方などの時間帯をジュニア等に開放、及び幼稚園児の体験ボウリングを実施し、子ども達にスポーツの楽しさと安全な時間と場所を提供した。

この指導者として、競技者団体所属のボウラーの皆さんにボランティアで協力をお願いした。

3. 「ミニ・ボウリング機」の普及

当協会が所有するミニ・ボウリングの機器を、当協会加盟のボウリングセンターのみならず、地域が行うチャリティ等の公益目的活動について無償で貸し出しているが、今年度はその実施はされなかった。

4. 「こども110番のボウリング場」の推進

各都道府県単位で地元行政や警察と連携して、「こども110番のボウリング場」を推進している。

IV. 福祉活動事業（公益目的事業4）

1. 「第53回宮様チャリティーボウリング大会」の主催

- 主 管 関東ボウリング場協会
- 協 力 社会福祉法人友愛十字会、
公益社団法人日本プロボウリング協会、公益財団法人全日本ボウリング協会
日本ボウラーズ連盟、全国実業団ボウリング連盟
- 期 間 令和元年11月30日（土）～12月1日（日）
- 会 場 品川プリンスホテルボウリングセンター（東京）
- 参加数 男子 186名、女子 78名、
障害者男子 91名、障害者女子 23名 <合計378名>
- 成 績 一般男子 優勝 宮澤 拓哉（JBC推薦）
一般女子 優勝 谷原 美来（JBC推薦）
障害者男子優勝 鈴木 昇（東京・アイビーボウル向島）
障害者女子優勝 村野 美幸（公益社団法人横浜市身体障害者団体連合会）

2. 「AED（自動体外式除細動器）」設置の推進

BPAJ NEWSへの総合警備保障株式会社ALSOK「AEDレンタルサービス」の案内記事掲載や、「全国JPBAジュニアボウリング教室」開催時におけるAED設置状況調査など、加盟センターへのAED設置を推進した。

3. 幼児、高齢者、障害者への「簡易ボウリングキット」寄贈・貸し出し

幼児、高齢者、障害者等の誰でもが簡単にボウリングを通じてスポーツに親しむことができるよう、軽量のピンとボールの「簡易キット」を購入し、無償で提供・貸与する事業を推進している。

4. 「メタボリックシンドローム対策」推進事業

- ・メタボリックシンドロームが様々な生活習慣病の要因となっている。この改善には適度な運動が重要であり、ボウリングを通じてメタボリックシンドロームの改善を図るよう啓発活動を行った。
- ・また、骨、関節、筋肉などの運動器の働きが衰え、運動器の障害のために、要介護になっ

たり、または要介護になる危険の高い「ロコモティブシンドローム」を予防するために、ボウリングを通じて、ロコモティブシンドロームの予防を図るよう啓発活動を行った。

- ・全国の加盟センターで開催をする「健康ボウリング教室」を主催し、国民の健康増進に寄与した。
- ・(公社)日本プロボウリング協会の監修のもと、「ライフスポーツボウリング」のパワーポイントを制作し、健康ボウリング教室の普及に寄与した。
- ・株式会社長谷工シニアホールディングスが、長年の経験と運用実践結果を踏まえ、健康寿命を維持するために作り出したサポートメニューのひとつ「ゆうゆう体操」とボウリングとのコラボを推進。「ゆうゆう体操」と個人で出来るロコチェックとロコモ予防運動のデータをディスク化したパッケージを制作し、加盟センターに配布した。
- ・9月10日(火)に東京ドームボウリングセンターで開催した、後述の「第6回全国長寿ボウラーボウリング大会 オーバー80's・90's」において、準備体操にこの「ゆうゆう体操」を起用した。

V. 高齢者福祉活動事業（公益目的事業5）

高齢化社会が急速に進展する現在、高齢者の健康増進、身体機能の強化は社会の極めて重要な課題であり、高齢者の運動能力を向上させるために、スポーツへの参加意識を高めることを目的とした活動を行った。

1. 長寿ボウラー番付の発表

平成8年度より実施している「長寿ボウラー番付」は、日場協の高齢者福祉活動事業の一環として実施されており、その回数も令和元年度で24回目を数えた。

BPAJ NEWS を通じ全加盟センターよりの報告(男性:80歳以上・3,194名、女性:75歳以上・4,623名の計7,817名、夫婦:合計150歳以上、640組・1,280名)と、更にポスター掲載のキャッチフレーズを募集し、それぞれ多数の応募をいただき発表した。

また、警察庁・都道府県警察の「振り込め詐欺撲滅対策」への協力として、引き続き「ポスター」に「標語」の掲載をした。

- (1) 番付ポスターを制作し、全加盟センターへ男性編・女性編各2枚及び夫婦編2枚を配布した。
- (2) 全国のマス・コミにリリース資料を配布し、長寿ボウラー番付の広報に努めた。
媒体で取り上げられた情報は、各センターより日場協に情報提供された。
「長寿社会化現象」にマッチしたものとして、マスメディアのみならず、あらゆる業界から注目を集め、ボウリングは「健康スポーツ」「生涯スポーツ」「コミュニケーションスポーツ」として、その地位を不動のものとしている。
- (3) 番付に掲載された全「長寿ボウラー」に「番付ポスター」と「認定証」を、また横綱ボ

ウラーには記念品（協賛：新日本製薬株）を、所属の加盟センターを通じ贈呈した。

(4) 希望者に「公式ユニフォーム」と「公式ワッペン」を有償頒布した。

(5) 満80歳以上の長寿ボウラーを対象とした、第6回目となる「全国長寿ボウラーボウリング大会オーバー80's・90's」を主催した。

- 主 管 関東ボウリング場協会
- 会 場 東京ドームボウリングセンター（東京都文京区）
- 開 催 日 令和元年9月10日（火）
- 参 加 者 90歳以上：11名 80歳以上：59名
- 優 勝 者 90歳代の部：奥谷 賢一郎選手（96歳）
80歳代の部：長田 孝夫選手（81歳）

2. ボウリングを通じての高齢者の運動能力向上に関する普及啓発

ボウリングは、高齢者の運動能力を高めることが医学的に証明されており、高齢化社会が急速に進展する現在、スポーツを通じての健康づくりを進めるとともに、予防医学の見地からも高齢者の運動能力向上に高い効果が認められ、国民の最も身近なスポーツであるボウリングを、高齢者に普及させる活動を行った。

VI. ボウリング関係団体の公益目的活動への参加と支援事業（公益目的事業6）

ボウリングに関係する団体は、それぞれが公益を目的とした活動を実施しており、当協会はその関係団体を実施する公益目的事業のうち、当協会活動の趣旨に適合する事業であり、下記関係団体が実施する事業に積極的に参加し支援した。

- ・日本ボウリング機構（JBO）
- ・公益社団法人日本プロボウリング協会（JPBA）
- ・公益財団法人全日本ボウリング協会（JBC）
- ・日本ボウラーズ連盟（NBF）
- ・全国実業団ボウリング連盟（ABBF）
- ・ジャパンレディースボウリングクラブ（JLBC）
- ・公益財団法人スペシャルオリピックス日本（S. O. 日本）

3. その他の事業（相互扶助事業）

VII. その他の事業（相互扶助事業）（その他事業1）

1. 全国ネット・テレビ放映の実現

全国ネットのテレビ放送でボウリング競技会等を放映し、広く国民がスポーツを通じてその楽しさを享受し、健康促進及び豊かな人間性の涵養に寄与するようボウリングに関する広報を行った。

2. 「ボウリングの日キャンペーン」の実施

(1) 江崎グリコ(株)との共同主催により、「ボウリングで家族の笑顔がハイスコア！」をテーマに、「プレゼント・キャンペーン」を全国の加盟センターで実施。

●期間中に家族で来場された小学生以下のお子様にはボウリングピン型「バルーンシューター」をプレゼント（各センター先着110名様）

(2) 「小学生以下のジュニア無料キャンペーン」

6月22日（土）・ボウリングの日に、小学生以下のジュニアを無料対応するキャンペーンについて、時間帯もゲーム数も企業、センター、場協会の判断で任意にて実施。

できるだけ多くのセンターで実施していただき、「6. 22はボウリング場に子どもの笑顔が溢れる」ことを目標とした。

4. 管理部門

VIII. 管理部門

1. 会員の動向

新法人として会員体制の変更、会費の低減化及び役員組織強化努力により、30年度中に加盟率は65%に達し、維持を続けている。

(1) 会員企業数、会員センター数・レーン数及び加盟率

	2018年度期末（平成31年3月31日）	2019年度期末（令和2年3月31日）
会員企業数	258社	258社

区分	2018年度末（平成31年3月31日）		2019年度末（令和2年3月31日）	
	センター数	レーン数	センター数	レーン数
加盟	495	15,923	497	15,807
未加盟 (内付帯施設など)	259 (12)	5,978 (84)	238 (12)	5,426 (72)
合計	754	21,901	735	21,233
加盟率	66.7%	73.0%	68.7%	74.7%

【注】加盟率は、付帯施設（公共施設及び9レーン以下のセンター）を除き算出した。

(2) 令和2年3月31日現在の賛助会員数 … 8社

2. 総会の開催

(1) 「第8回 定時総会」

- 日 時 令和元年6月1日(土)・午後1時～15時30分
- 場 所 名古屋東急ホテル 3F・「錦の間」
- 議 事 第一号議案 2018年度事業報告、収支決算報告及び監査報告について
報 告 2019年度事業計画書、収支予算書、
資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の報告について
◆ 議案は、全て原案どおり可決承認された。

3. 理事会の開催

- (1) 第51回 理事会 平成31年 4月22日(月) 於 日場協内・会議室
- (2) 第52回 " 令和元年 5月31日(金) 於 名古屋東急ホテル・3階「梅の間」
- (3) 第53回 " " 6月2日(日) 於 名古屋東急ホテル・3階「梅の間」
- (4) 第54回 " " 9月9日(月) 於 日場協内・会議室
- (5) 第55回 " " 11月30日(土) 於 グランドプリンスホテル新高輪
レストラン棟B3 イルレオーネ「マロニエ」
- (6) 第56回 " 令和2年 1月22日(月) 於 品川プリンスホテル
メインタワー3F 『すずらん・きんれんか』

4. 事業委員会の開催

- (1) 平成31年 4月10日(水) 於 日場協内・会議室
- (2) 令和元年 8月26日(月) 於 "
- (3) " 11月5日(火) 於 "
- (4) " 12月23日(月) 於 "

5. 令和2年賀詞交歓会の開催

日本ボウリング場事業協同組合との共催で、下記の通り開催した。

- 日 時 令和2年1月20日(月)・午後5時～7時
- 場 所 品川プリンスホテル アネックスタワー 5F 「プリンスホール」
- 出席者 265名

6. 日本ボウリング機構（略称：JBO）の設立及び活動

わが国ボウリング業界全8団体が一体となり、「ボウリング参加人口2000万人達成」「No.1国民スポーツ=ボウリング」の実現を目指し、平成30年8月に新団体「日本ボウリング機構（JBO）」を設立した。日本ボウリング場協会は、ボウリングの普及・振興を図るため、このJBOの活動に参画し活動をしている。

- | | | | | | |
|-----|--------------|------|-----------|---|-------------|
| (1) | 運営委員会 | 令和元年 | 5月21日（火） | 於 | 日場協内・会議室 |
| (2) | 2019年度第1回理事会 | 〃 | 6月20日（木） | 於 | 仏教伝道センター会議室 |
| (3) | 運営委員会 | 〃 | 8月29日（木） | 於 | 日場協内・会議室 |
| (4) | 2019年度第2回理事会 | 〃 | 9月8日（日） | 於 | 新狭山グランドボウル |
| (5) | 運営委員会 | 〃 | 12月10日（火） | 於 | 日場協内・会議室 |
| (6) | 国内統一ルール制定委員会 | 令和2年 | 1月21日（火） | 於 | 日場協内・会議室 |
| (7) | 2019年度第3回理事会 | 〃 | 3月4日（水） | 於 | 文書決議 |

7. 各団体との打ち合わせ、他

(1) 「グローバルボウリングトーナメント」打ち合わせ会議

ボウリングの発展に向け、ボウリング界が一体となり立ち上げた「グローバルボウリングトーナメント」の開催について、打ち合わせをすすめた。

- | | | | | | | |
|---|-------|-----------|------|---|---|------------|
| ① | 平成31年 | 4月25日（木） | 午後4時 | ～ | 於 | 日場協内・会議室 |
| ② | 令和元年 | 6月6日（木） | 午後4時 | ～ | 於 | 〃 |
| ③ | 〃 | 7月30日（火） | 午後4時 | ～ | 於 | 〃 |
| ④ | 〃 | 8月22日（木） | 午後3時 | ～ | 於 | 新狭山グランドボウル |
| ⑤ | 〃 | 9月17日（火） | 午後4時 | ～ | 於 | 日場協内・会議室 |
| ⑥ | 〃 | 10月21日（月） | 午後4時 | ～ | 於 | 〃 |
| ⑦ | 〃 | 12月10日（火） | 午後3時 | ～ | 於 | 〃 |
| ⑧ | 平成31年 | 1月28日（火） | 午後4時 | ～ | 於 | 〃 |
| ⑨ | 〃 | 2月27日（木） | 午後4時 | ～ | 於 | 〃 |

※日場協からは、岡田専務理事・事務局長、伊藤職員が出席

●「nanao杯2019 グローバルボウリングトーナメント」の開催

9月8日（日）・午前9時～ 於 新狭山グランドボウル（埼玉県）

(2) 「KUWATA CUP 2020」の共催、実行委員会への参画

●実行委員会の開催

- | | | | | | |
|---|------|----------|---------|---|--------------|
| ① | 令和元年 | 5月23日（木） | 午後1時30分 | 於 | 東京ポートボウル・会議室 |
| ② | 〃 | 6月11日（火） | 午後3時 | 於 | 〃 |
| ③ | 〃 | 7月8日（月） | 午前11時 | 於 | 〃 |

④	〃	7月23日(火)・午前11時	於	〃
⑤	〃	7月30日(火)・午前11時	於	〃
⑥	〃	8月8日(木)・午前11時	於	〃
⑦	〃	8月20日(火)・午後5時	於	〃
⑧	〃	8月28日(水)・午前11時	於	〃
⑨	〃	9月5日(木)・午前11時	於	〃
⑩	〃	9月17日(火)・午後0時	於	〃
⑪	〃	9月27日(金)・午前11時	於	〃
⑫	〃	10月8日(火)・午後1時	於	株式会社アミューズ・会議室
⑬	〃	10月23日(水)・午後0時	於	〃
⑭	〃	10月29日(火)・午後3時	於	東京ポートボウル・会議室
⑮	〃	11月8日(金)・午前11時30分	於	株式会社アミューズ・会議室
⑯	〃	11月15日(金)・午後0時30分	於	〃
⑰	〃	11月26日(火)・午後5時	於	〃
⑱	〃	12月23日(月)・午後7時	於	〃
⑲	令和2年	1月10日(金)・午後2時	於	〃
⑳	〃	1月22日(水)・午後1時	於	〃
㉑	〃	1月31日(金)・午前11時30分	於	〃
㉒	〃	2月14日(金)・午後2時	於	〃
㉓	〃	3月2日(月)・午後4時	於	〃

●「KUWATA CUP 2020」の開催

・「アマチュアボウラー部門 全国予選会」

- ・2019年10月1日(火)～2020年1月13日(月・祝)
- ・全国の日場協・加盟センターで実施

・「競技ボウラー部門 全国予選会」

- ・2019年11月1日(金)～11月30日(土)
- ・全国の日場協・加盟センターで実施

・「競技ボウラー部門 都道府県大会」

- ・2019年12月7日(土)～2020年1月12日(日)
- ・47都道府県の指定会場で実施

・「本大会 準決勝 決勝」

- ・本大会 2020年2月20日(木)～21日(金)
東京ポートボウル、品川プリンスホテルボウリングセンター
- ・決勝・準決勝 2020年2月22日(土)～23日(日)
渋谷・ヒカリエホール特設レーン

※本大会、準決勝・決勝は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止。

8. ボウリング発祥記念碑の維持管理

日場協が任意団体から通算して創立25周年を期し、後世へこの史実を伝えていくため、平成2年6月22日に「ボウリング発祥記念碑」を長崎市内に建立し、長崎県ボウリング場協会へその維持管理をお願いしている。

また、15年6月22日の“ボウリングの日”には、「社団法人化30周年」記念事業の一環として、「案内板及び柵」の設置・整備も行なった。

- ・ 建立場所 長崎市所有「長崎市松が枝町駐車場」
- ・ 借地面積 6.6平方メートル
- ・ 使用契約 長崎市から1年間の土地使用許可を得、以後自動更新されている。

9. 表彰規程による表彰の実施

(1) 第6条・2号④ 功労賞

- ・ 里見 隆（静岡県ボウリング場協会 勤続11年）

(1) 第6条・5号 永年勤続賞の贈呈

- ・ 10年勤続者 8名
- ・ 20年勤続者 2名
- ・ 30年勤続者 2名
- ・ 30年以上 1名

<合計 13名>

10. その他の組織団体への加盟・協調

(1) 公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会

- ・ 多種多様なスポーツ・健康関係団体が加盟しており、協調や情報交換等を行っている。
特に、スポーツ界全体の振興策や税制等について、他の会員団体と共同で調査・研究している。
 - ・ 尚、中里会長が理事を務めている。
- <加盟団体・企業数> 34

(2) 東京商工会議所

- ・ ボウリング業界の更なる発展のため、平成8年11月に入会した。
- ・ BPAJ全国大会は、日本商工会議所の「後援」をいただくと共に、第32回大会（平成9年度）以降「日本商工会議所会頭杯争奪」と銘打ち開催されている。
- ・ 日本商工会議所・会頭である 三村 明夫 氏 に、前任の 岡村 正 氏 に引き続き26年2月より、弊協会の名誉会長を委嘱している。

(3) 公益財団法人日本スポーツクラブ協会

- ・ 多世代、多種目、多志向等の特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営される「総合型地域スポーツクラブ」はじめ、全国の各種スポーツクラブをサポートする

ことを目的としている。

- ・ボウリング業界の更なる発展のため、平成31年1月に入会した。
- ・岡田専務理事・事務局長が評議員を務めている。

<維持会員団体・企業数> 12